



固定費の削減・作業効率化を実現

製造業 / アイシン九州株式会社様

データ分析の見える化など更なる活用を目指す

2019年10月に勤次郎 Enterprise シリーズ（就業・人事・給与）のERPパッケージを導入いただいたアイシン九州株式会社様。

現在はグループ会社であるアイシン九州キャスティング株式会社様の2社を一元管理されている。そんなアイシン九州株式会社様が勤次郎 Enterprise シリーズを導入いただいた経緯と現在の運用状況について、人事総務部の方に話を伺った。



設立

1993年4月

本社

熊本県熊本市南区城南町舞原字西 500 番地 1

従業員数

825名

事業内容

自動車商品・電器 / 電子の2つの事業部制

■自動車製品事業部

・サンルーフ / シートアジャスター等の生産

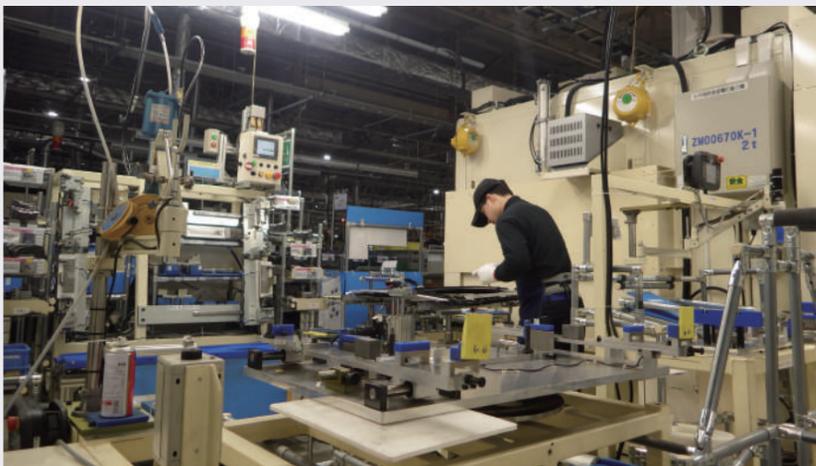
■電気 / 電子事業部

・地場の半導体 / 液晶装置メーカー様との取引

「お客様より頼りにされるメーカー実現」に向け挑戦し続けます

「自動車生産の中心である九州において、最高品質のものづくりを行う一方、自動車部品以外の分野にも積極的な事業展開を行っています。」

トヨタグループの戦略パートナーであるアイシン精機の出資により誕生し、九州が自動車生産の中心となる中で、2007年からはエンジン部品の強化のための子会社も本格的に稼動。レクサスをはじめ、最高品質のものづくりを行う一方、企業としての独自性と経営基盤を強化するため自動車部品以外の分野にも進出するなど積極的な事業展開を図っています。事業内容は、自動車商品・電器・電子の2つの事業部から成り立っていて、自動車商品事業部は、サンルーフ・シートアジャスター等の商品を生産、電気・電子事業部は地場の半導体・液晶装置メーカー様との取引を中心に行っています。



複数会社（グループ会社）を一つのシステムで一元管理

「勤次郎 Enterprise 導入の決め手となったのは、製品の機能、ランニングコストもさることながら、導入時の細やかな対応と代替提案、そしてサポート面が、3社程の比較の中で最も優れていたからです。」

会社にとっての最大の課題であった、子会社との業務統合における固定費の削減を勤次郎 Enterprise が解決してくれました。

アイシン九州とアイシン九州キャスティングのそれぞれが別システムで管理していたものを、勤次郎 Enterprise で一元管理することで、固定費の削減・作業効率化をあげられるというのが導入を検討した最大のきっかけでした。

また、会社毎に異なる勤務時間帯などに対してパラメータ設定によって機能設定を行い標準機能のまま業務に適合させる柔軟性やランニングコスト、サポート面も他社と比較して、最も優れており、導入後も安心して使い続けることができると思いました。

就業・人事・給与の一元管理で作業効率がUP

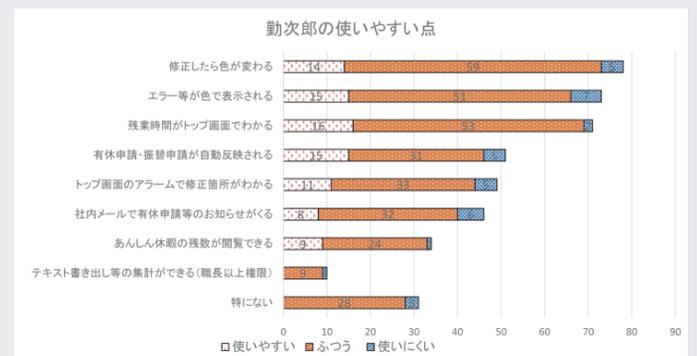
「データの書き出し、取込作業がなくなりました。」

今まで別システムで管理していたため、データの書き出し・取込作業がネックとなっていました。就業・人事・給与を勤次郎シリーズで一括管理することでシームレスな連携が可能になり、無駄な作業がなくなる事で、結果的に作業効率を上げることができました。

直観的に分かりやすい使い勝手が社内で好評

「社員の75%の人が勤次郎の使いやすさに満足しています。」

社内アンケートでは、75%の人が勤次郎の使いやすさに満足していました。使う側からは、「トップ画面のアラームで修正箇所がわかる」「社内メールで有給申請等のお知らせがくる」「修正したら色が変わる」「エラー等が色で表示される」などの使い手の気持ちを考えた細かい機能が『使い勝手が良い』と好評を得ています。



複数人で行っていた業務を1人の担当者で行えるように！

「管理部門の業務効率化から労働生産性向上の実現」

現場（職長）への適切な管理権限の付与によって自主性が向上し、管理を取りまとめる総務部門では、勤怠に関して工数負担が減り業務効率化に繋がりました。具体的には今まで複数人で行っていた業務を1人の担当者で行えるようになっていました。そこで生み出された工数を、より生産性の高い業務に充て、結果として生産性の向上に繋がっています。

勤次郎を使いこなし活用を広げていきたい

「データ分析の見える化による様々な課題解決を目指しています」

勤次郎 Enterprise のデータを基に残業時間や36協定の時間等を部署別、チーム別で比較できるようなグラフにし、勤怠情報を見える化していきたいと考えています。このインタビューに備えて各部門へのアンケートを行ったことで、現場の声を吸い上げることができました。社内のコミュニケーションをスムーズにするシステムとして、今後も活用を広げていきたい。



< インタビューを終えて >

今回のインタビューではアイシン九州株式会社様固有のニーズに応えきれない部分もあることが判りました。それらは、使い方の工夫や現状機能を十分にご理解いただくことで解決できる部分がある事も共有できましたが、一方で、対応すべき機能改善について、その時期やレベルについては明確にお答えしていきたいと思っております。社員の方々が弊社のシステムを利用することを通じて、自然に会社の管理方針や法規制をご理解いただけるようになることが理想だと考えています。そんなシステムを目指してこれからも努力していきたいと考えています。